

この話を聞いて新聞をつくるのは大変なんだなと思いました。見た感じを考えたとしても複雑いのに、どうやったら見やすくなるかなどを考えてついている人は本当にすごいと思いました。見た感じの内容だけでも興味がわく人が多いのが変わること思うので、興味をわかせる見た感じでつくるのはいいと思いました。

普段私たちが言っている半斤両手加減のようにしてつくれていいのかいました。
たくさんの新聞会社があるのは、日々新聞を監視し権力とのつながりなど工夫などされていいのだとか分かった。

記事にタイトルをつけるときに、興味深く短くするのか難しく、記者さんのすごさを感じました。

実際に新聞の見出(をつければ)、新聞のことがよく分かる授業でした。

新聞で134本記事が書かれていた人を作成(180分)、2題目、2題名、見出し、1人の人が書かれて書いたり、書いていたりしました。

新聞を作る過程のお話というのはなかなか聞くことのないお話を、とても興味深く思いました。また実際に自分で見出しを考えてみて、改めて大変なことでかなりの国語力が必要だなど感じました。

僕は今まで新聞の事などあまり興味がなく、あまり知りながたけれど、今回朝日新聞者の西見さんからのお話を聞き、新聞の名前の決め方などを知れて良かたと思ひました。

新聞がどうへよろしくないかってうれしい子がいた。

新聞へ見出しへ言葉が印象に残る。

私はまだ知らない新聞へことを聞くのが好きであります。自分で見出しおれるときは、何を書けば、読者が読みたいくんどのくらい3回3段で複雑いやつです。1人1人3から見出して、どれもそれでいいと思いました。

実際に新聞社の方に来ていただきて、お話を聞くことができたのでいい経験になりました。お話をタイトルを考えるのも、自分ではいいタイトルを考えることができなかつたので、一目で見て読みたいと思わせるタイトルを考えることができる新聞社の方はすごいなと思いました。

実際に朝日新聞社の方からお話を聞いて、見出しの構成などを興味を持ちました。

今まで新聞の役割はニュースを伝えるというよりも知らなかったけれど、「権力監視」という役割も担っていることを知って驚きました。また、新聞はネットニュースと違い裏をしっかりと取っていふことを初めて知りました。

新聞の記事の見出しが考えていると私は入れたりことが多くて、でも長い短い文に対するのが裏面しかったけれど、本記事の見出しが短いのに内容がまとまっています。さらに読んでみたいと思う見出しがなっていました。プロはすごいんだだと感動しました。

今日、113人の話を聞いた。見出しを毎回考えたり、9月の10大変なところを
どう思ってたか。

普段きけばいいお話をこうやって細かくくわしく教えていただけてありがとうございました。
ございました。最後のことでんわのお話を聞いてきてみたが語でした。
これに題名は正解なんてから自分の思ったまにつけると
いうのがまたきてきましたので思いました。

どんな見出しひすれば「新聞を読む人の目にとまるのか」を考えながら大変で、取材に行って真実
を開いて私達に届ける、とてもすごい仕事だと思いました。
自分の家は新聞をとっているからわからないけれど、新聞があると助かると考えているか、いると思ふ
すごくやりがいのある仕事なんだなと思いました。

今回の授業で新聞記事について色々知ることができて、とても勉強になりました。実際に新聞記事を読んでみて、見出しを考えるのまじめ難しかったですが、その記事の内容についてよく深く知ることができました。これを毎日している新聞記者さんは本当に凄いと思いました。これがは、新聞記事の内容だけでなく見出にも注目して見てみようと思います。

きじを作ることとレイアウトする人がちがい、2人ないで作業を分担しているこ
とにあとはきました。(きじを作った人が「ここにのせてくれさい」と言って新聞
を作っていると思っていた。)新聞は買ってみけど、新聞社の人々話を聞く機
会はないかなかないので、きょうだけいけてさせてもらいました。

新聞記者を目指して「う私にとって、本当に為になるお話をいた。「新聞は民主主義を支える土台としての役割がある。」という言葉にプロのプロトロドが感じられ、とても印象的でした。西尾さんの詩の中でたくさん新聞のすばらしい工夫を知ることで、より新聞記者になりたいという思いが強くなりました。本当にありがとうございました。

記事の見出しは、たくさん人の目にとまるようなものをつけると聞いて、見出しあっても重要で、つけるのは少し難しそうだと感じました。新聞記事はしゃかり裏をとてから書かれていると初めて知りました。これから新聞を読むときは、今まで意識していなかた見出したも注目したり、記者の方があ伝えたいことを考えたりして読みたいです。

新聞が、情報を伝達する役割だけでなく、他の権力を監視し民主主義を土台から支える役割を担っていろということを知り、驚いた。

これからは、記者の方たちの思いや考え方を読みとりながら新聞を活用していくといふと思う。

普段、聞けないようなお話を聞くことができ、とてもいい時間になりました。

私が「アヒ」となるのは、あたりまえ、常識だと思ってました。

けれど、本当はそういうのがどうつかと常識とされてるものの疑問を持つことは、大切なことなんだと学ぶことができました。

また、新聞記事の見出しを自分で考えてみると、なかなか上手に見出しあつけらるてられませんでした。パッと見たときに、印象に残る見出しをいつも考えてくる新聞記者の方のすごさをあらためて、感じました。

新聞を作っている方々はみんなの目をひくには見出し、レイアウト、文家の大きさなどを工夫している。さらに見出しの言葉にも力をこせられるかと思う感じがして本当にすごいなと感心しました。

普通にニュースを全国の人へ届けなんじゃなくて、色々な方に見てもらいたい方が細かい工夫がある。改めて素晴らしいと思いました。

見出しせ一つ考えた"けでも大変だ。なのにそれをたくさん考えて全部に見出しつけて、本当にすごい事だと思いました。
新聞を読むことはほんとか。ただし、少しでも読んで、続けたいと思います。

みんなの言葉がとても印象に残る。
みんないい感じの見出しが提案していく
みたいだと思った。

1つ1つの記事に対して、しっかりと調べられていると聞いて、驚きました。小さな記事でさえしっかり確かめているのはすごいなと思いました。

普通ながら聞けばうそくは貴重な話を沢山聞いておかなくて。見出しがついてたりではそれを通り抜け見出しがついて、見込みによく目をつけている所が違うのが面白かったし全て内容にあっていき見出しが感じました。

今回の NIE 記者派遣事業で新聞の見出しを考えるのは難しいなと思いました。人に見てもえもん見出しを考えるのは難しいと自分で感じたのでそれを毎月考えてる新聞社の人にはむずかしかったと思いました。